

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

人はやる気が出ない時、その気になるまで待とうとする場合がある。	30
この考え方は間違っていることが、サルを利用した実験で判明している。	60
頑張ろうとする気持ちは、大脳基底核の一部によって制御されているという。	90
	102
この部分は、目的の達成までの行動を継続させる働きを管理し、活動している時がやる気のある状態と考えられる。	132
もちろん、成果となるものが大きくなるほど活発に活動する。	162
だが、残念なことに自分の意思では制御できない。	192
	207
何か行動を開始すると、この部分は働き始める。	237
勉強の前に机の上を整理するはずが、最終的には部屋まで片付けてしまったという経験もあるだろう。	267
やる気を出すには、まず行動を起こしてみるの	297
が一番効果的なようである。	310